

平成21年（行コ）第213号

八ッ場ダム公金支出差止（住民訴訟）請求控訴事件

控訴人 深澤洋子外37名

被控訴人 東京都水道局長外4名

証拠説明書（甲第62～65号証）

平成24年12月21日

東京高等裁判所民事第5部 御中

控訴人ら訴訟代理人 弁護士 西 島 和

番号	文書名	作成日	作成者	立証趣旨等	備考
甲62	平成24年度東京都水道の毎日の配水量	H24.12.12	嶋津暉之	東京都水道局の開示資料から、平成24年度4月から9月までの毎日の配水量を一覧表にまとめたものである。 この期間の区部及び29市町村の配水量の最大値は468万5900m ³ /日であり、例年一日最大配水量は夏期に記録されることから、平成24年度の一日最大配水量は約470万m ³ /日となる見通しであることを立証する。	写し
甲63	利根川水系水道水の放射性物質汚染のニュース	H23.3.23ころ	嶋津暉之	平成23年3月23日にインターネットで配信されたニュースを、嶋津暉之がテキスト化し保存しておいたものである。 平成23年3月、利根川水系の水道水が放射性物質により汚染され、水道利用に支障が生じたことを立証する。	写し
甲64	八ッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（抄）	H23.11月	国土交通省関東地方整備局	八ッ場ダムの事業費が、地すべり対策工の追加等のため、約180億円増額されること。	写し
甲65	水道事業における耐震化の状況（抄）	H24.12.12	厚生労働省	基幹的な水道管の耐震化率が、神奈川県で61.3%であるのに対し、東京都では34.9%にとどまっていること。	写し

以上